

11/14(日) 「江」ゆかりの地伊勢上野城と「環濠のまら一身田寺内町」 伊勢街道・伊勢別街道コース (約12km)

一身田寺内町・専修寺

一身田寺内町は、三重県下で唯一残る寺内町です。その歴史は寛正6年(1465)に下野国(栃木県)高田専修寺10世真慧が、蓮如の本願寺勢力に対抗し無量寿院と呼ばれる本坊を移したことに始まります。戦国時代に入って、下野の高田専修寺が炎上荒廃したことから、ここが高田派の中心となって寺名も「専修寺」と称するようになりました。そして、正保2年(1645)の火災で寺内町が全焼しましたが、万治2年(1659)にその修復と寺域拡大のため、津藩2代藩主藤堂高次公が領地を寄進し、17世紀末には専修寺を中心に末寺や民家を囲い込んで、周囲に外濠を巡らし、寺内町の形態を作り上げました。近畿地方には、戦国時代から江戸時代にかけて、このような寺内町がいくつか造られました。寺内を濠で囲った環濠がほぼ完全に残っていて、当時の町の形をよく残しているのが、ここ一身田寺内町です。

JR紀勢線

一身田駅発	津駅着
12:23	12:27
13:29	13:33
14:29	14:33
15:28	15:33

(運賃180円)



近鉄名古屋線(名古屋方面行き)

津駅発	千里駅着	
8:16	8:32	四日市行
8:32	8:46	
8:43	9:00	四日市行
8:57	9:13	
9:16	9:31	
9:40	9:57	

(運賃250円)

公共交通機関の
料金は各自で
お支払い下さい。

スタート 近鉄千里駅

■スタート受付
9:00~10:00



大河ドラマ「江」
地域活性化推進協議会
公認キャラクター
「ゴーちゃん」

ゴール 一身田寺内町 (専修寺唐門前)

■完歩スタンプ押印
12:00~15:00



一身田寺内町
PRキャラクター
「しん坊」

昔ながらの
伊勢木綿
製造店です

古い木の欄干の
橋だよ

上野城跡(伊勢上野城)

上野城は、標高約30メートルの高台にあり、城跡は、東西約250メートル、南北約550メートルの規模で、城の主郭の周囲には、かつて土塁や堀切りで区画された郭が取り巻き、特に主郭の東側には幅が20メートル近い空堀があり、その四周には今もところどころに土塁が残り、城らしさをとどめています。

上野城の築城時期は明らかではありませんが、天文17(1548)年に分部氏から三間氏にこの城が預けられたことが記されています。その後、永禄11(1568)年に織田信長による伊勢侵攻があり、織田信長の弟信包が一時この城に入り、分部氏は信包に仕えました。小谷城落城後、信包の元に、お市の方とその娘の三姉妹(茶々、初、江)も保護されていたといわれています。信包が天正8年(1580)に安濃津城(津城の前身)に移ると、分部氏が上野城の城代となりました。

信包がこの地を去った後、分部氏は豊臣秀吉、徳川家康に仕えて加増を重ね大名となり上野城主となりましたが、近江国大溝(現在の滋賀県高島市)へ転封となり、それとともに上野城は廃城となりました。